

第3回 人権研修会

— 性的マイノリティの人権 —

人権教育推進委員会

1 はじめに

今年度最後の人権研修会は、伝達講習2本と性的マイノリティに関する動画視聴1本からの内容で研修を実施した。伝達講習1本目は、府立人権夏季セミナー全体会での講義「激変する情報環境とこれからの人権教育」の内容であった。伝達講習2本目は、府立学校人権研修Aを受講しての内容で、同和問題やアンコンシャス・バイアス等の話であった。それぞれ、研修に参加した教員が、本校他教職員に向けて研修内容の伝達を行い、皆で共有することができた。

2 概要

日時	令和7年12月25日(木) 13:15~14:45
場所	本校2階多目的ホール
対象	当校教員
内容	伝達講習 第一部「府立人権春季研修及び夏季セミナーを受講して」 第二部「府立人権教育研修A同和教育を受講して」 動画視聴 『性的マイノリティの人権について』 バースデイ「性の多様性を認め合う～誰もが自分らしく生きられる社会をめざして～」



3 内容

バースデイ「性の多様性を認め合う～誰もが自分らしく生きられる社会をめざして～」の動画は、娘が男性（トランスジェンダー）であるとカミングアウトした母親が、戸惑いながらも周囲との交流を通じて性の多様性を理解し、子どもの苦悩と向き合い受け入れていく過程を描き、性的少数者の存在と人権への理解を深め、誰もが自分らしく生きられる社会の実現をめざす内容であった。動画の内容がドラマ仕立てで鑑賞しやすく、参加者も理解しやすい様子であった。

4 事後アンケートから（感想や意見）

（1）研修の内容について

多くの参加者が「満足」または「概ね満足」と回答しており、ポジティブな受け止め方が大半をしめていた。内容についても「理解できた」とする回答が多く、講師の説明や資料が適切であったとの声があった。

（2）感想

- ①無意識の偏見（アンコンシャス・バイアス）：自分では気づかないうちに持っている偏見に気づかされたという声があった。
- ②職場でのコミュニケーション：相手の立場に立った言動や、ハラスメント防止に向けた具体的な行動の重要性が必要と感じたとのこと。
- ③多様性の受容：性（性別、年齢、国籍など）に関わらず、一人ひとりの個性を尊重する姿勢が必要であるとのこと。

Ⅱ 校内研修

④今後の課題・要望

「もう少しワークショップや議論の時間が欲しかった」という意見が一部見られた。